

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法治療学		必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
粕山 達也	D311	kasuyama		金曜日 9:00-11:00	
授業の目的・概要	理学療法を実施するにあたり、理学療法評価をもとにした最適な治療計画を立てる必要がある。個人の年齢や性別、運動能力、疾病の有無など健康状態を理解した上で、治療方法の選択をするための思考過程を学習する。行い運動種目、運動強度、運動時間、運動頻度を決定し、患者さんに適した理学療法を提供することが重要である。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	PT 症例レポート赤ペン添削 ビフォー&アフター/著:相澤純也、美崎定也、石黒幸治/羊土社/2016				
参考書	理学療法治療学 I 運動療法 編著 中山貴 医歯薬出版株式会社 2012				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	治療プログラムを作成するために必要な基本的知識を習得している。			HSU (4), PT (3)	
②	年齢・性別・疾患の違いに応じた治療プログラムとリスク管理を作成できる。			HSU (3), PT (2), PT (3)	
③	評価結果から問題点の抽出を行い、提示した課題についてまとめることができる。			HSU (3), PT (4)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	理学療法治療学概論	講義	理学療法評価の一連の過程を教科書で確認する。	4	
2	理学療法の治療の種類について学習する。	講義	理学療法の治療の種類について教科書で予習する。	4	
3	形態の変化に対する理学療法について学習する。	講義	形態の変化に関する評価方法を確認する。	4	
4	関節可動域制限に対する評価から治療の流れについて学習する。	講義	関節可動域制限に対する評価方法を確認する	4	
5	関節可動域制限に対する理学療法について学習する。	講義	関節可動域制限に対する運動療法を確認する	4	
6	筋力低下に対する評価から治療の流れについて学習する。	講義	筋力低下に対する評価方法を確認する。	4	
7	筋力低下に対する理学療法について学習する。	講義	筋力低下に対する運動療法を確認する。	4	
8	疼痛に対する評価から治療の流れについて学習する。	講義	疼痛に対する評価方法を確認する。	4	
9	疼痛に対する評価から理学療法について学習する。	講義	疼痛に対する運動療法を確認する。	4	
10	運動耐用能 (持久力) 低下に対する評価から治療の流れについて学習する。	講義	運動耐用能低下に対する評価方法を確認する。	4	
11	運動耐用能 (持久力) 低下に対する理学療法について学習する。	講義	運動耐用能低下に対する運動療法を確認する。	4	
12	治療時におけるリスク管理について学習する。	講義	配布プリントを復習する。	4	
13	モデルケースに対する問題点を考慮した運動プログラムとリスク管理について学習する：課題の提示	講義	モデルケースに設定した運動プログラムとリスク管理が妥当であるか確認する。	8	
14	モデルケースに対する問題点を考慮した運動プログラムとリスク管理について発表する	講義			
15	総括	講義	作成資料及びこれまでの授業資料を確認する。	4	
試	定期試験				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	30	0	0	70	
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	20	30
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	20	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	5	0	0	10	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	0	10	15
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	モデルケースに対して作成した運動プログラムとリスク管理について発表し、その内容により判定する (30%)。発表の評価基準表は講義内で配布する。また発表の際に、聴講者は発表者の内容をリアクションペーパーにまとめ、提出を求める (20%)。				15 回目に、各モデルケースに対する考え方について資料を提示しながら解説していく。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	各講義で課題(50%)の提出を求め、その内容を採点し、評価する。課題は、各疾患に対する運動プログラムおよびリスク管理に関する問題を出题し、理解度を問う。				模範レポートを提示して解説する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験	理学療法士 (臨床経験 16 年) 整形外科クリニック 6 年 訪問リハビリテーション 10 年 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー (臨床経験 16 年、資格取得後 6 年)						
実践的授業の内容	臨床現場に多い疾患に対して具体的な治療方法について解説するとともに、提示した症例に対する実践的な学習課題を提供する。						
そ の 他	授業態度 ：授業中の私語は禁止とする。口頭注意により授業態度が改善しない場合、退室を命じることがある。 感染対策 ：本授業では大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を厳守する。感染対策を遵守できない学生は面接授業の参加を認めない。今後の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、シラバス変更の可能性があることに留意してほしい。						